

経済学部 経済学科

【教育目標】

学則第3条に掲げる教育上の目的を達成するために、経済学科は以下の教育目標掲げる。

1. 知識・理解
 - ・人類の文化、社会と自然に関する知識の理解
経済学の基本的知識とその基礎となる経済社会に関する知識について、その体系的な理解力を養う。
2. 汎用的技能
 - ・コミュニケーション・スキル
日本語と特定の外国語を用いて他者と意見交換し、また協力できる能力を養う。
 - ・数量的スキル
経済学の基礎となる数学・地理歴史等の知識を習得させる。
 - ・論理的思考力
経済学の思考方法に基づいて、意見の異なる者と適切に議論できる能力を養う。
 - ・問題解決力
未知の問題を発見し、経済社会に関する知識に基づいてその解決に寄与する能力を養う。
3. 態度・志向性
 - ・チームワーク、リーダーシップ
自らの役割を理解し、リーダーシップを発揮してその責務を果たす資質を培う。
 - ・市民としての社会的責任
経済社会の課題が有する多面性を理解し、広く社会に貢献できる能力を養う。
 - ・生涯学習力
経済社会の諸現象を科学的に探求できる姿勢を養う。

【ディプロマ・ポリシー】

経済学の基礎知識を学んだ上で、情報化・国際化に対応した講義や就職を意識したインターンシップ、キャリア教育関連科目などを通じて、実践的な科目を修得し、以下に示す幅広い知識・能力を習得し、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士（経済学）の学位を授与します。

1. 知識・理解
 - ・人類の文化、社会と自然に関する知識の理解
「企業経済」、「産業組織」、「生活経済」、「社会福祉」、「財政」、「金融」、「環境」などのより具体的な対象において、経済学がどのように活用されているのかを理解することができる。
2. 汎用的技能
 - ・コミュニケーション・スキル
日本語と特定の外国語を用いて自分の意見を表現でき、また他者の意見を理解することができる。
 - ・数量的スキル
経済学の基本的な知識を数量的に説明することができる。
 - ・論理的思考力
経済理論の知識を踏まえて社会の変化を捉え、時事問題等について自分の見解を述べ、異なる意見と比較することができる。
 - ・問題解決力
新たに直面した問題に対し、自らの知識・経験を生かしつつ、関連する情報・データを収集・分析し、その解決に向けて行動することができる。
3. 態度・志向性
 - ・チームワーク、リーダーシップ
自らが所属する組織の課題解決に向けて、メンバーと協調しつつ、責任感を持って積極的に行動することができる。
 - ・市民としての社会的責任
経済社会に関わる人々の多様性を理解し、経済学の知識を用いて、社会の発展のために行動できる。

・生涯学習力

現実の諸問題に深い関心を持ち、問題解決のために必要な知識・資源を獲得することが出来る。

【カリキュラム・ポリシー】

経済学部生として「経済学入門科目」、「経済学基礎科目」、「総合教育科目」を1、2年次に履修した後、自らの関心に基づいて3年次から経済学科に配属された学生に対しては、2年間で培った経済学の考え方をさらに専門的かつ実践的に身に付け、経済の仕組みをより詳細に分析するための科目として「経済学科応用科目」が配置されています。

「経済学科応用科目」は、「景気」、「高齢化」、「格差社会」、「環境」、「福祉」、「企業活動」、「金融」、「財政」、「情報」などのキーワードを手助けとしながら、各分野における経済理論とその具体的な応用について理解を深めます。

また、2年次後期からは、「専門演習」を履修します。経済学部における学びの集大成としての「卒業論文」の作成・提出を行うため、「専門演習」では、少人数による報告、議論を繰り返すことによって説得力を伴って自分の見解を表明できる能力の獲得を目指します。

そして、4年次には「卒業論文」を執筆し、「専門演習」担当教員の指導を受け合格することで卒業を目指します。

【アドミッション・ポリシー】

経済学部は、変動する経済社会に対応できる人材を教育することを目標として、「経済学科」と「国際経済学科」から構成されており、両学科とも、経済社会のさまざまな変化に迅速に対応するとともに、経済社会の課題を解決しようとする意欲をもった学生を募集しています。このため、経済学部では両学科一括で学生募集を行い、2年間で修得した経済学の基礎的知識と学生自身の興味関心に基づいて、各自が所属する学科を決定します。そこで、経済学部では、経済学部、経済学科、国際経済学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づいて、下記のような資質を持つ人の入学を募っています。

(求める学生像)

(1) 基礎的・基本的な知識・技能について

- 1.日本語の基本的な読む・書く・聞く・話す能力
- 2.外国語の基本的な読む・書く・聞く・話す能力
- 3.地理歴史公民分野の基礎知識
- 4.科学技術についての基礎知識

(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

- 1.人との基本的なコミュニケーションができる。
- 2.日本語の基本的な論理的思考力
- 3.異文化理解への関心
- 4.日本や世界の社会・文化・時事問題への興味・関心

(3) 主体的に学習に取り組む態度について

- 1.現代社会の動きや日本経済、ビジネスに関心を持っていて、21世紀の社会がこれからどんな方向に進んでいくのか、きちんと学びたい学生。
- 2.将来の進路についてはっきりした意志を持ち、グローバルな視野を持ちたい学生。
- 3.主体的に物事に取り組み、自らの知識や経験を発展させる意欲がある学生。

上記のような資質と関心を持った学生を求めるために、経済学部では、AO入試、推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト利用入試などを設け、上記の資質と関心について学力だけに偏らない多面的な評価を行って学生を募集します。

(選抜方法)

区分 入試 名称 求める 学生像	総合型選抜			学校推薦型選抜			一般選抜		その他の選抜		編入学
	A O	ク ラ ブ	専 門 学 科 ・ 総 合 学 科 出 身 者	指 定 校 推 薦	特 別 推 薦 (系 列 校)	公 募 推 薦	一 般 ※ 1	大 学 入 学 共 通 テ ス ト ・ プ ラ ス 方 式 (利 用)	資 格 取 得 者 特 別 等 ※ 2	社 会 人 、 留 学 生 ※ 3	
(1)-1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
(1)-2			○	○	○	◎	◎	◎			
(1)-3	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○
(1)-4				○	○	○	○	○			
(2)-1	◎	◎	◎	○	◎	○			○	○	○
(2)-2	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎
(2)-3		○	○	○	○					◎	
(2)-4	◎		○	○	○				◎	◎	○
(3)-1	◎	○	◎	◎	◎	○			○	○	◎
(3)-2	◎	◎	◎	◎	◎	○			○		○
(3)-3	◎	◎	◎	◎	◎	○			○	◎	◎

※1 他に資格取得者一般入試があります。

※2 他に帰国生徒、卒業生子女特別入試があります。

※3 他に留学生指定校、日本留学試験利用、日本語能力試験利用入試があります。

改正 2024年 5月 28日